

メディアスエフエム第82回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和3年5月26日(水)

2. 場所

書面審議による

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

委員) 市野恵、下村一夫、関雅夫、林繁八、森岡厚喜

以上5名

4. 議事内容

(1) 報告事項(書面送付にて)

- ・コロナウイルス感染症拡大防止対策について
- ・5月の活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議・・・委員

5. 審議内容

(1) 番組審議「ほっと一息～おひるまメディアス～」

市野委員 / ・終始明るいトーンの声でゆっくり丁寧な話し方で聞き取りやすかった
・トークで日常を挟みながら、その話題に沿った選曲が親しみやすさを覚えた
・リスナーから多くのメッセージが寄せられていて、ラジオを通じて色々な人の暮らしぶりを垣間見たような楽しい気持ちになった。

下村委員 / ・パーソナリティが庶民的かつ話題も豊富で親しみが持てた
・話すスピードと選曲とのギャップを感じた
・平日の昼食を一人でとる味気ない状況となった時、市民パーソナリティが顔の見える距離から語り掛けてくる感覚になれることは、良いと思った

関 委員 / ・多くのメッセージが届いており、リスナーのレスポンスが良いと感じた
・パーソナリティのプロフィールを知らない状況で聴くと、分からない話があった
・活舌が悪く、原稿はもっと練習してから本番に臨んでほしいと感じた

林 委員 / ・内容が多様で、話題も時期に合ったもので良いと感じた
・地元飲食店の自慢のメニュー、イベント、トピックスは地域活性化の観点かもみて良いと感じた
・地域を絞ったコロナワクチンの接種情報は、民法ではあまり聞くことが出来ないなので、メディアスエフエムらしさが出ていた

盛岡委員 / ・パーソナリティは、一生懸命しゃべりに向き合う姿勢が目につかび、不思議な面白さを感じた

以上

文責：メディア事業部 大賀鉄也